文書記号番号	平成　22　年度　動衛　第22062805　号	分類番号	520101
決裁委任事項番号		保存期間	5　年

接受年月日	平成 22 年　6 月 28 日	文書管理	記事　その他（山羊）
登録年月日	平成 22 年　6 月 28 日	担当者印	※口蹄疫緊急病性鑑定
起案年月日	平成 22 年　7 月 14 日	[redacted]	
決裁年月日	平成 22 年 7 月 14 日		
施行年月日	平成 22 年 7 月 14 日		＊別紙（写）として案１を添付
完結年月日	平成 22 年 7 月 14 日		

件　名：病性鑑定依頼について（回答）

所　長 [redacted]

動物疾病対策センター長 [redacted]

疫学情報室長 [redacted]

疾病診断室長 [redacted]

企画管理部長 [redacted]

審　議　役 [redacted]

研究調整役 [redacted]

管理課長 [redacted]　庶務チーム長 [redacted]　庶務担当 [redacted]

業務推進室長 [redacted]　調　査 [redacted]

企画チーム [redacted]

運営チーム [redacted]

交流チーム [redacted]

伺　い

平成２２年６月２８日付けをもって、[redacted]から依頼のあったこのことについて、案１～３のとおり施行してよろしいか。

担当係等	交流チーム	起案者	[redacted]	内線番号	7899

農業・食品産業技術総合研究機構起案用紙（甲）

案1

22動衛第22062805号
平成　年　月　日

[redacted]　あて

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所長

病性鑑定回答書

平成２２年６月２８日付けをもって依頼のあった病性鑑定について、別紙のとおり回答します。

案2

22動衛第22062805号
平成　　年　　月　　日

[redacted]　あて

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所長

病性鑑定回答書

このことについて、別紙（写）のとおり回答したのでお知らせします。

案3

22動衛第22062805号
平成　　年　　月　　日

農林水産省
消費・安全局動物衛生課長　殿

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所長

病性鑑定回答書

このことについて、別紙（写）のとおり回答したのでお知らせします。

別紙

1．動物種

当該山羊1頭

雑種、[redacted]生年月日：不明

2．材料

搬入材料

当該山羊1頭のプロバング材料1検体　血清1検体

検査材料：

a)当該山羊1頭のプロバング材料を遠心し上清としたもの

b)血清

3．検査目的

[redacted]の山羊９頭のうち２頭で、[redacted]を示した。翌日、２頭のうちの１頭に[redacted]を確認し、口蹄疫が疑われたため，農林水産省および[redacted]が病性の決定を行う上の検査を動物衛生研究所海外病ユニットにて実施した。

4．検査方法

①RT-PCR

検査材料a)およびb)を用い、RNAを抽出し、3D領域（RNA依存RNAポリメラーゼ）のプライマーセットを使用して、口蹄疫ウイルスの遺伝子の検索を行った。

3D領域は7血清型間で遺伝子配列が高度に保存されており、本プライマーセットで7血清型が検出可能である。

②抗体ELISA

検査材料ｂ)を用い、国際標準に準拠した口蹄疫World Reference Laboratory製造の抗体検出競合ELISA血清型０を実施した。本法では32倍以下を陰性とする。

③ウイルス分離

検査材料a)を用い、BK細胞およびIBRS-2細胞に接種し、CPEの有無を7日間にわたって観察した。

5．検査結果

①RT-PCR

検査材料a)およびb)で口蹄疫ウイルス特異的なサイズのバンドは確認されなかった。

②抗体ELISA

当該山羊の血清（検査材料ｂ)）で、32倍未満を示し、陰性であった。

③ウイルス分離

BK細胞およびIBRS-2細胞にCPEは観察されなかった。

6．考　察

[redacted]

（海外病ユニット）

病性鑑定回答書

研究管理監 センター長	チーム長 室　長	ユニット長	担当者	材料到着	22 年　6月 28 日
[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	材料引渡	22 年　6月 28 日
				検査終了	22 年　7月 14日

検査依頼機関名：[redacted]

動衛研の文書番号：　22動衛第22062805号

1．動物種

当該山羊1頭

雑種、[redacted]　生年月日：不明

2．材料

搬入材料

当該山羊1頭のプロバング材料1検体　血清1検体

検査材料：

a)当該山羊1頭のプロバング材料を遠心し上清としたもの

b)血清

3．検査目的

[redacted]の山羊９頭のうち２頭で、[redacted]を示した。翌日、２頭のうちの１頭に口内炎を確認し、口蹄疫が疑われたため，農林水産省および[redacted]が病性の決定を行う上の検査を動物衛生研究所海外病ユニットにて実施した。

4．検査方法

①RT-PCR

検査材料a)およびb)を用い、RNAを抽出し、3D領域（RNA依存RNAポリメラーゼ）のプライマーセットを使用して、口蹄疫ウイルスの遺伝子の検索を行った。

3D領域は7血清型間で遺伝子配列が高度に保存されており、本プライマーセットで7血清型が検出可能である。

②抗体ELISA

検査材料b）を用い、国際標準に準拠した口蹄疫World Reference Laboratory製造の抗体検出競合ELISA血清型 O を実施した。本法では32倍以下を陰性とする。

③ウイルス分離

検査材料a)を用い、BK細胞およびIBRS-2細胞に接種し、CPEの有無を7日間にわたって観察した。

5．検査結果

①RT-PCR

検査材料a)およびb)で口蹄疫ウイルス特異的なサイズのバンドは確認されなかった。

②抗体ELISA

当該山羊の血清（検査材料ｂ））で、32倍未満を示し、陰性であった。

③ウイルス分離

BK細胞およびIBRS-2細胞にCPEは観察されなかった。

6．考　察

[redacted]

動衛第2206285号
平 22.6.28 成
動物衛生研究所

（別記様式３）

病性鑑定依頼書

平成22年６月28日

独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構
動物衛生研究所長　殿

[redacted]

下記のとおり病性鑑定を依頼いたします。

記

1　動物種（品種、性別、個体識別番号等を含む。）
1)当該山羊（雑種、首輪装着、[redacted]、生年月日不明（4年前に外部より譲渡））

2　鑑定材料（種類、数量を含む。）
1)ﾌﾟﾛﾊﾞﾝｸﾞ　1検体　1-1)分のみ1頭分
2)血清　1検体　〃

3　鑑定目的
口蹄疫の診断

4　発生状況
別添のとおり（別記様式２を添付）

5　連絡先
[redacted]
TEL [redacted]

6　その他特記事項

動物衛生研究所
受付
22.6.28
企画管理部管理課

（別記様式２）

不明疾病、現地調査表（電話報告用）

平成22年６月　２８日

[redacted]
発生No.

1　報告者　共済獣医
　年月日：H22年　６月　２８日　９時
2　家畜所有者
　氏名：[redacted]
　住所：[redacted]（電話番号：[redacted]）
　畜舎の所在場所（家畜所有者の住所と異なる場合）：山羊担当[redacted]
3　現地調査の時間：H22年　６月　２８日10時１３分
1　飼養頭数：[redacted]
5　病畜頭数　成山羊　１頭（県内産、４年前導入）
6　病歴、症状、病変の大要：
　６月２７日[redacted]で共済獣医が山羊を診療
[redacted]
　２８日[redacted]
7　診断：不明
8　病鑑材料の採取：ｳｲﾙｽ用（ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｸﾞ１、鼻腔ｽﾜﾌﾞ０、血清１　　計２検体）
9　当面の措置状況：
　出入口の閉鎖、山羊の係留、消毒槽の設置、消石灰散布消毒、立入制限
10　過去21日間の当該農場における家畜の移動：移出[redacted]
　移入[redacted]
11　給与飼料の種類、産地等：[redacted]
12　残さ物給与の有無、内容：[redacted]
13　最近の海外渡航歴の有無：[redacted]
　〃　海外からの物品の有無：[redacted]
14　過去7日間に接触した者の有無：[redacted]

15　畜主の管理する他の畜舎：[redacted]
16　付近の畜産農家の有無：[redacted]
17　生乳：集乳所の所在地[redacted]　出荷先　：[redacted]
18　発生の原因※：
19　殺処分予定頭数※：
　死体処分方法：焼却、埋却、その他（　　）
20　その他参考となる事項
　都道府県畜産課からの指示事項：

（別記様式１）

不明疾病の発生届出（記録用）

[redacted]

１　受理年月日：　２２年６月２８日　９時２０分

２　届出者

氏名：[redacted]　（職　　業：共済獣医師）

住所：[redacted]　（電話番号：[redacted]）

３　発生農場

氏名：[redacted]　（電話番号：[redacted]）

住所：[redacted]

４　届出事項

飼養頭数：[redacted]

うち異常頭数：山羊２頭

５　おおまかな症状、病歴：

・22年６月27日に、[redacted]

・22年６月28日[redacted]

６　既にとった応急措置：

７　その他関連事項（疫学、個体識別番号等）：

８　届出者への指示事項：

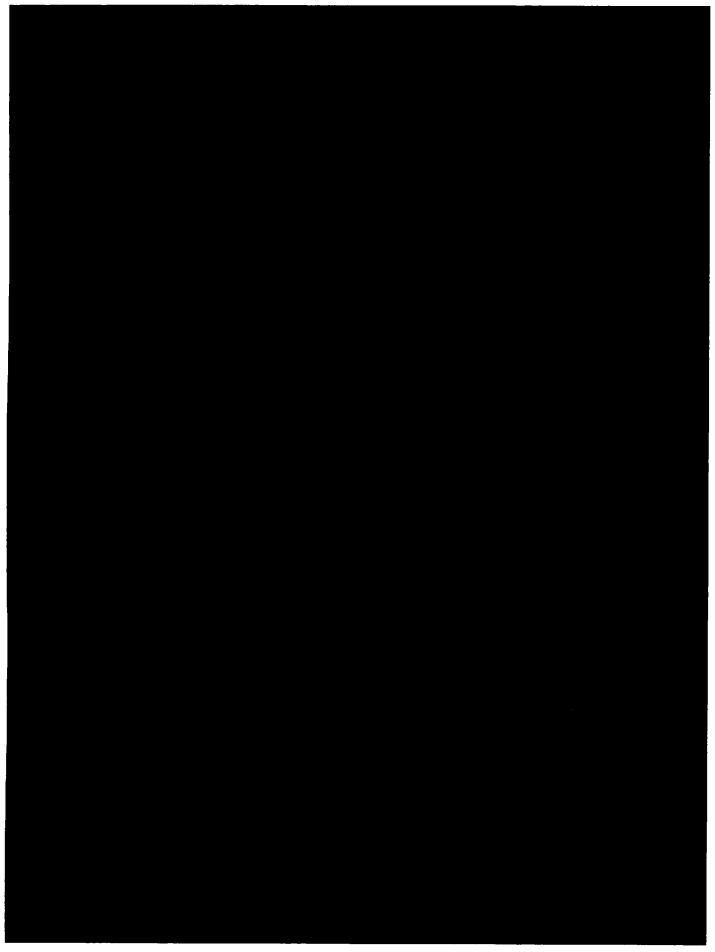
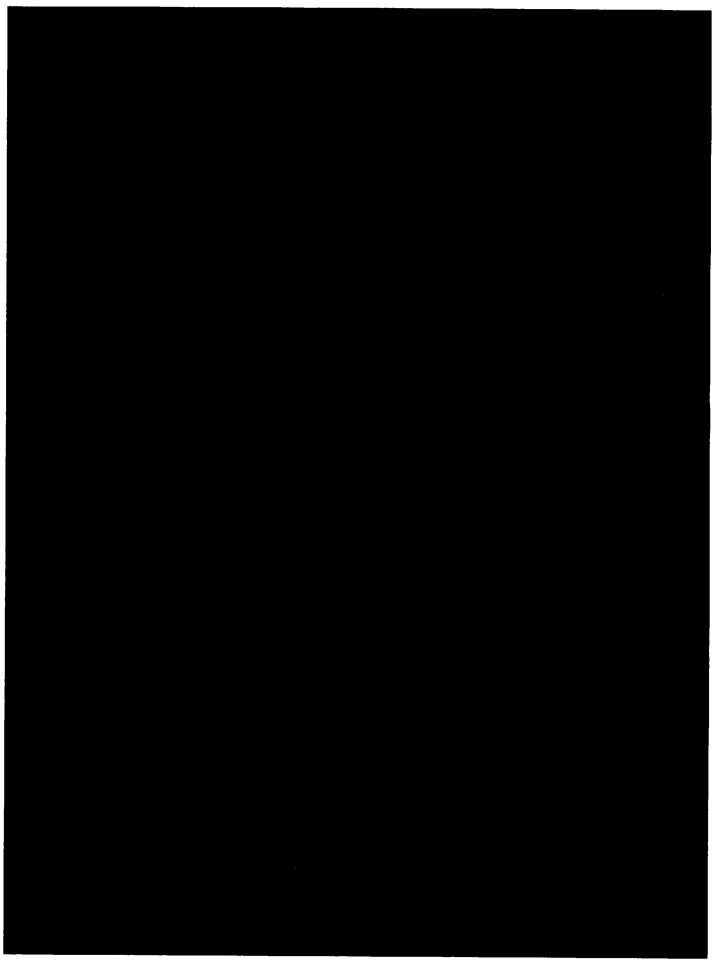
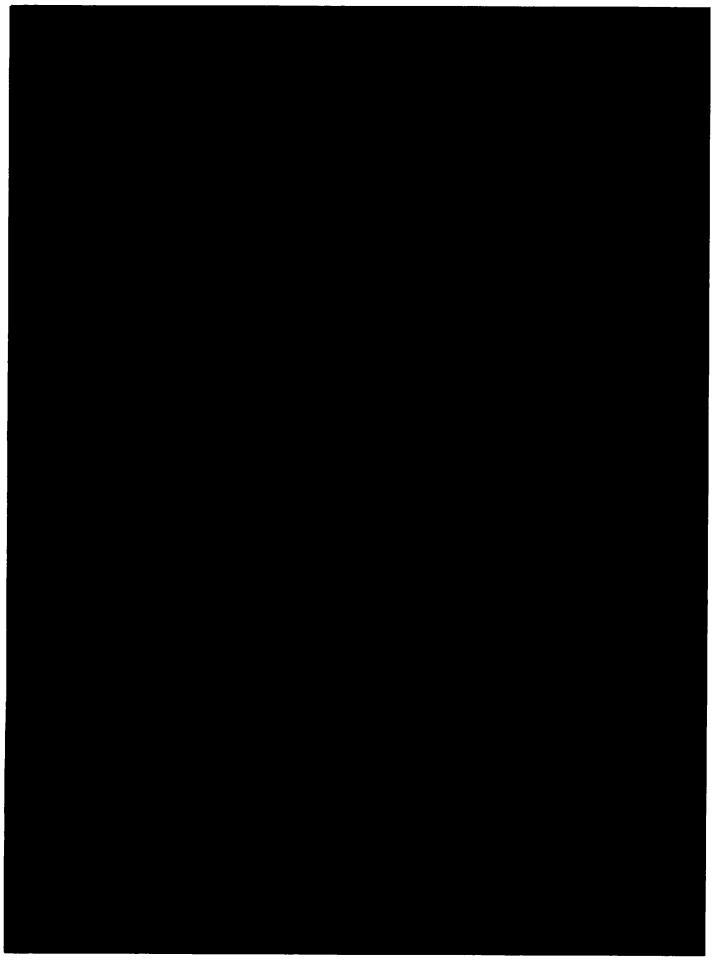
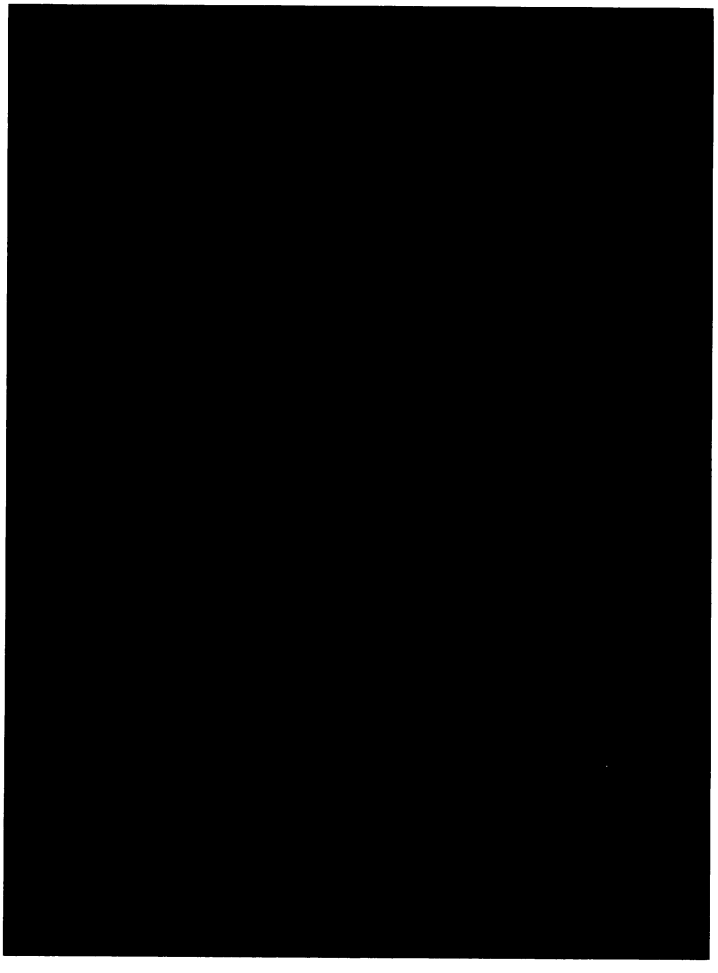
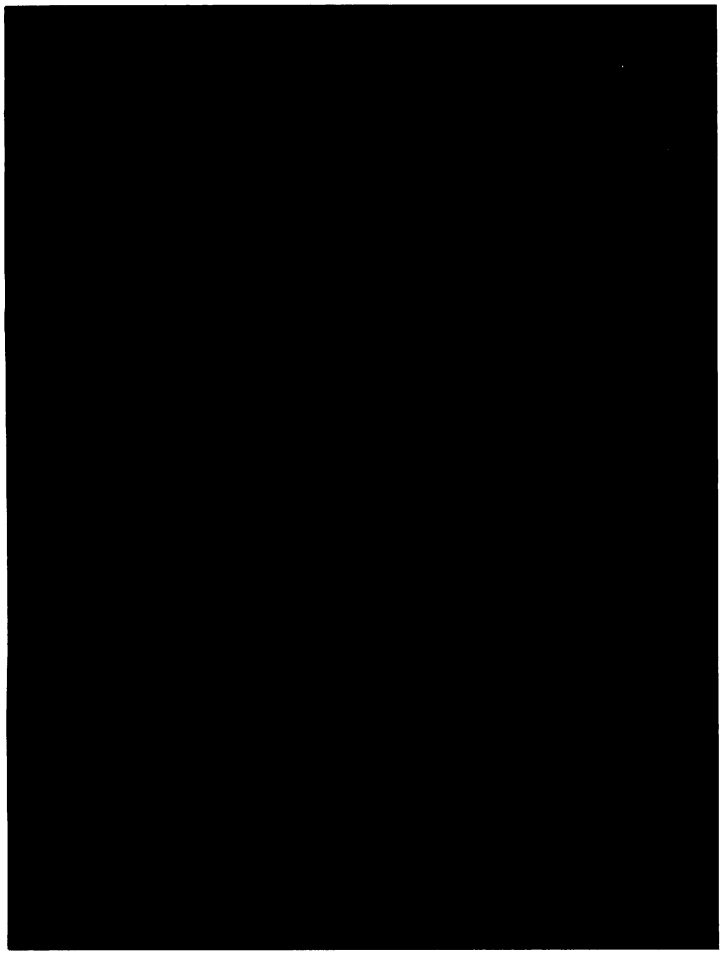
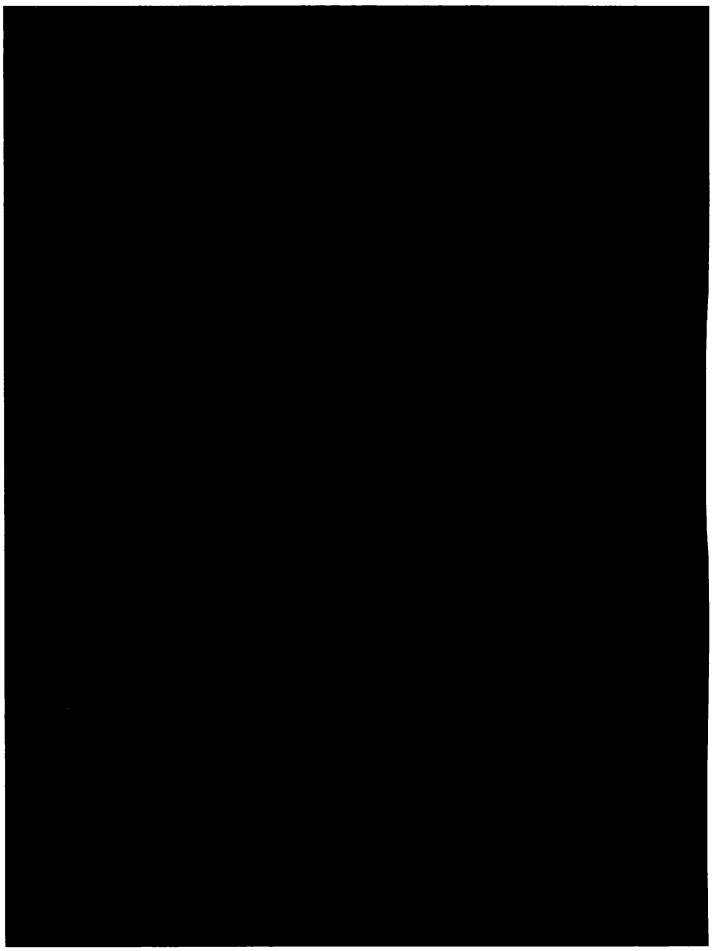
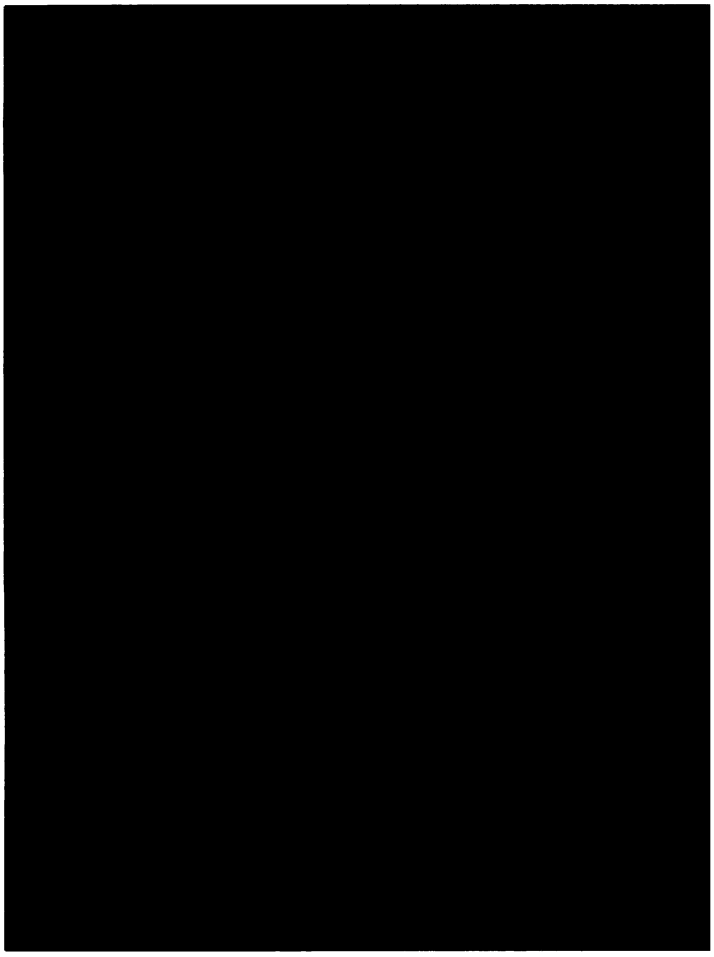
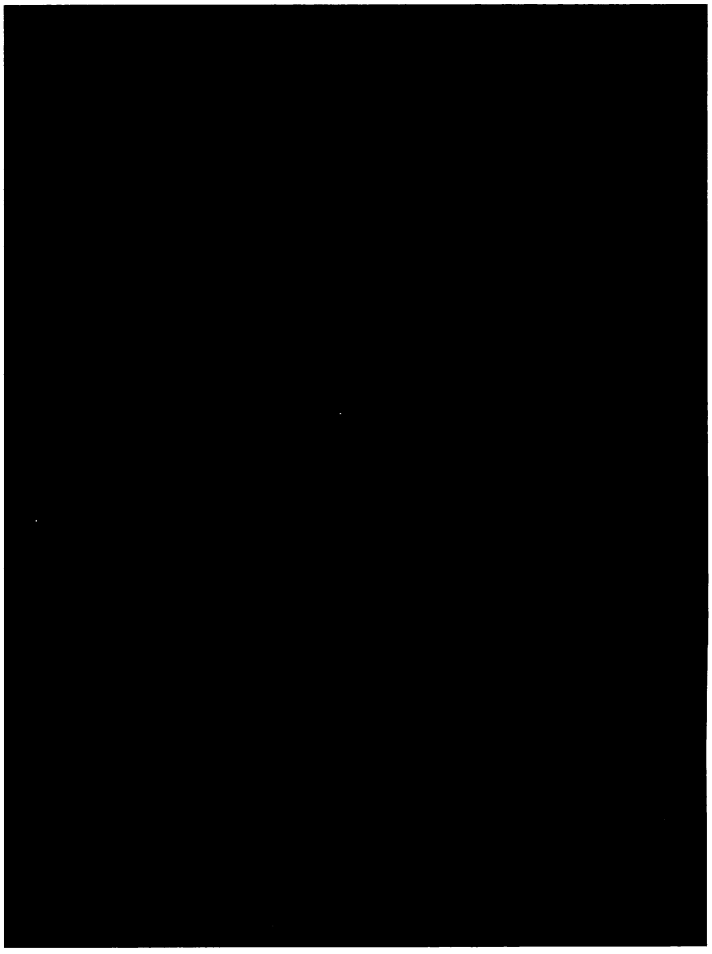
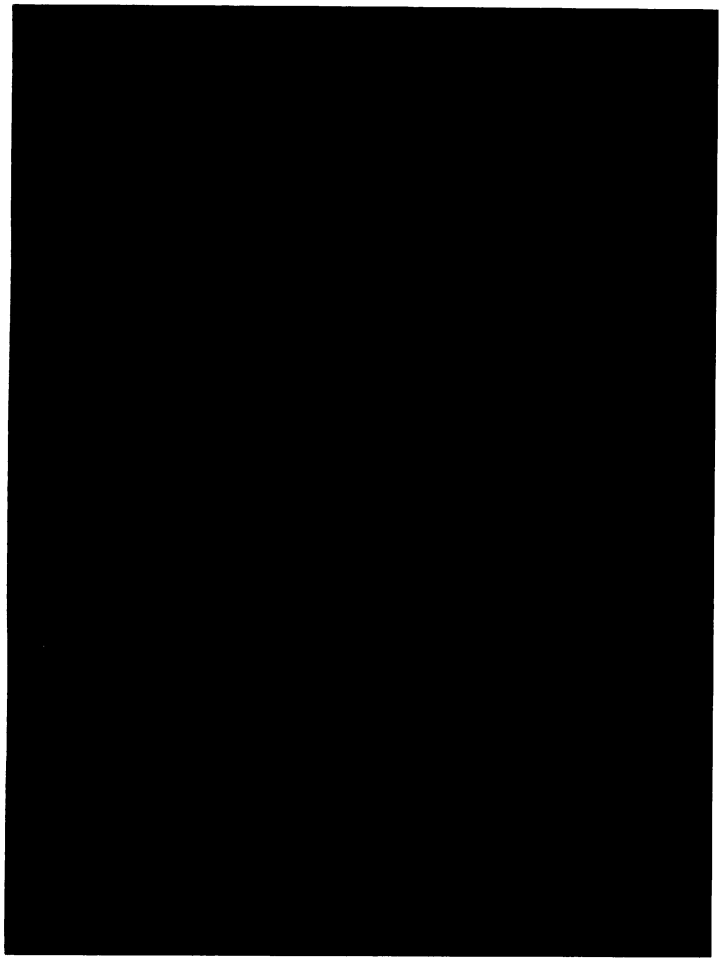
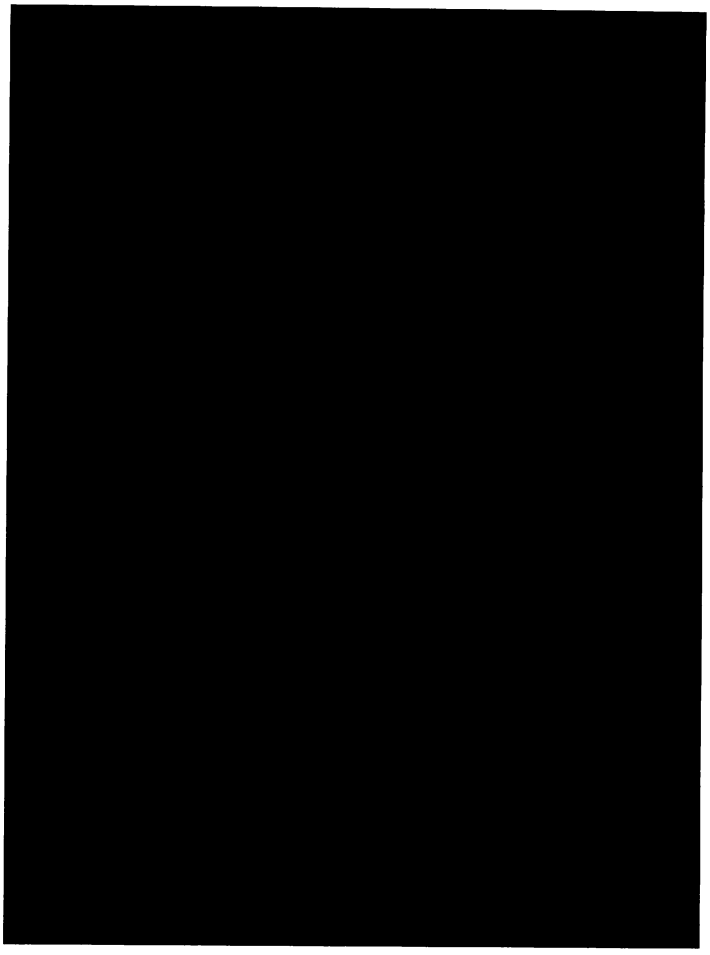
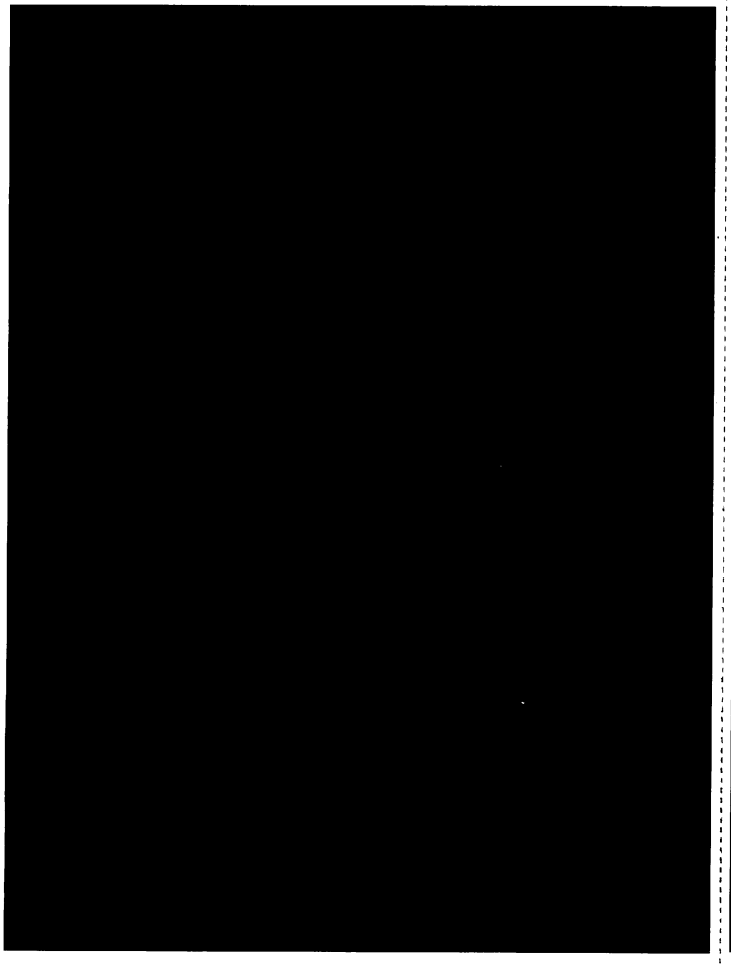
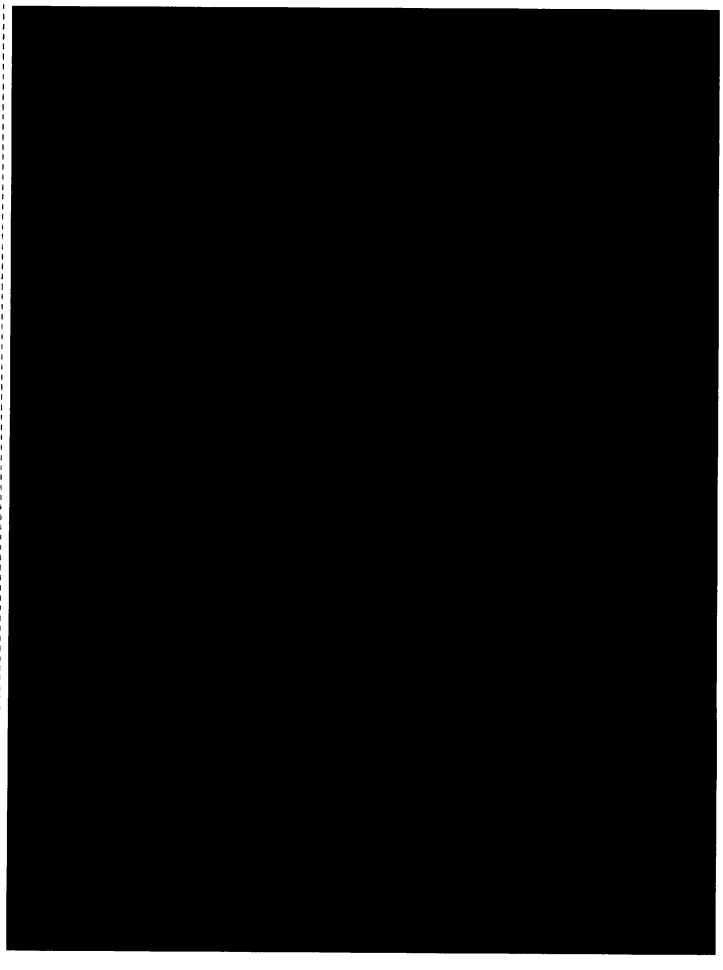
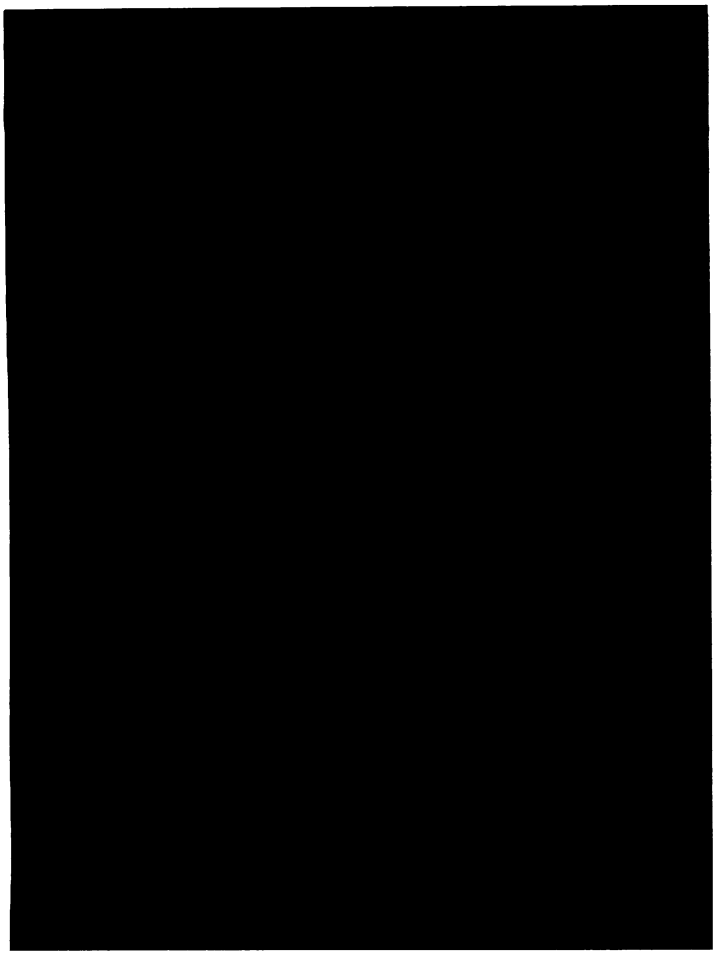
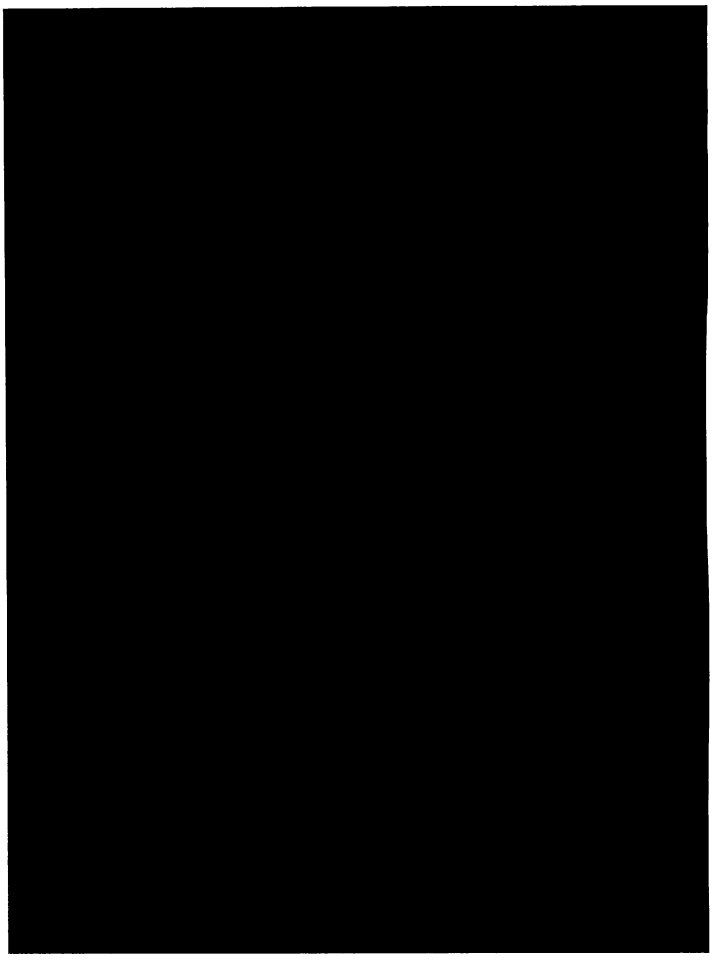
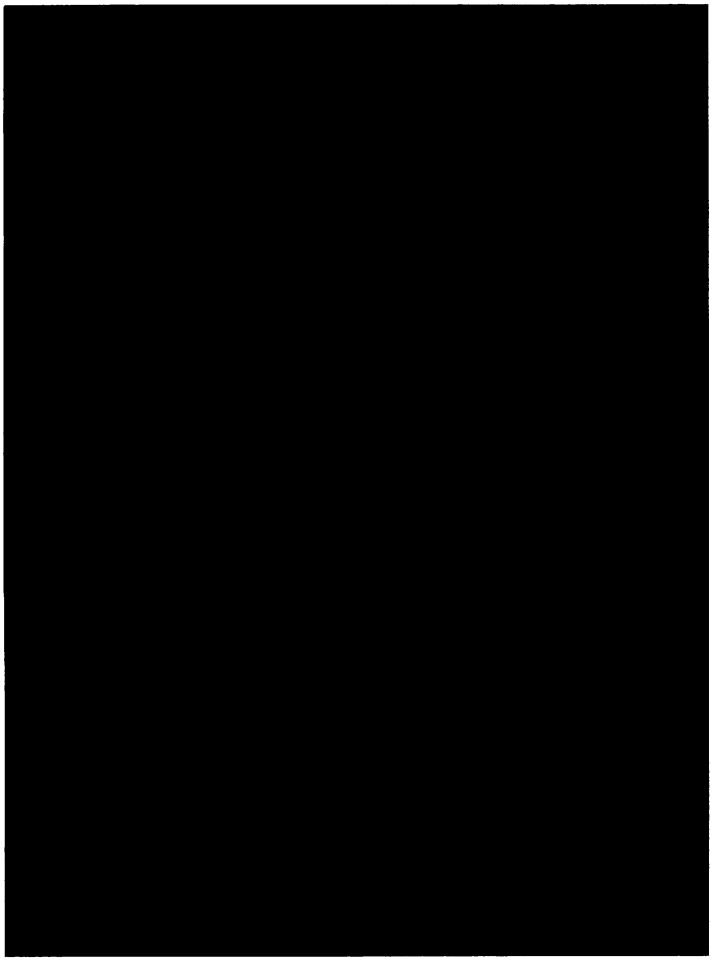
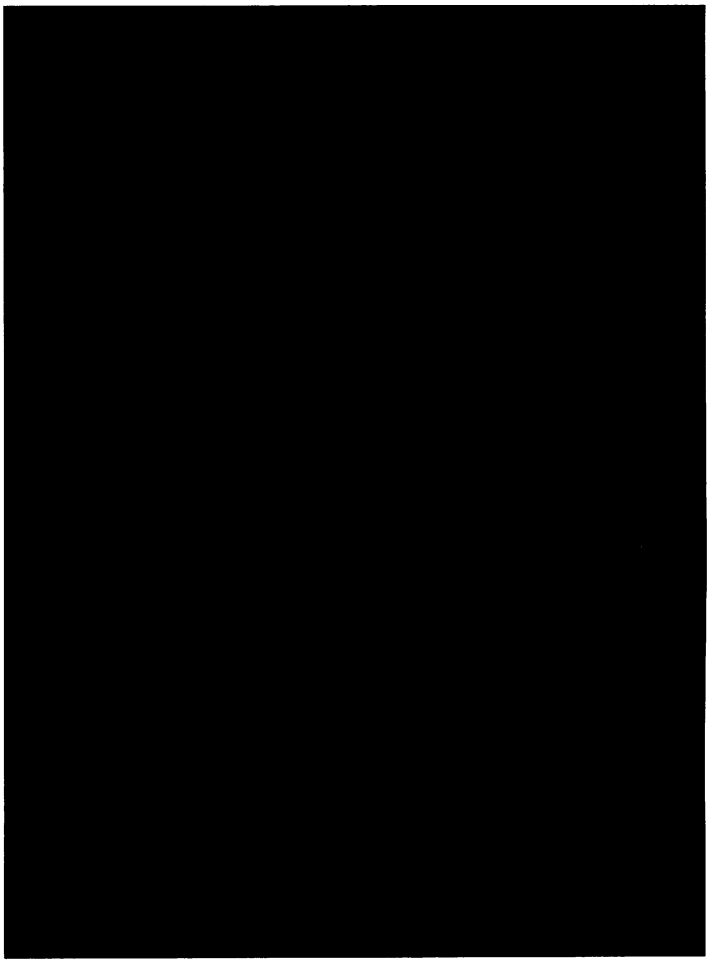
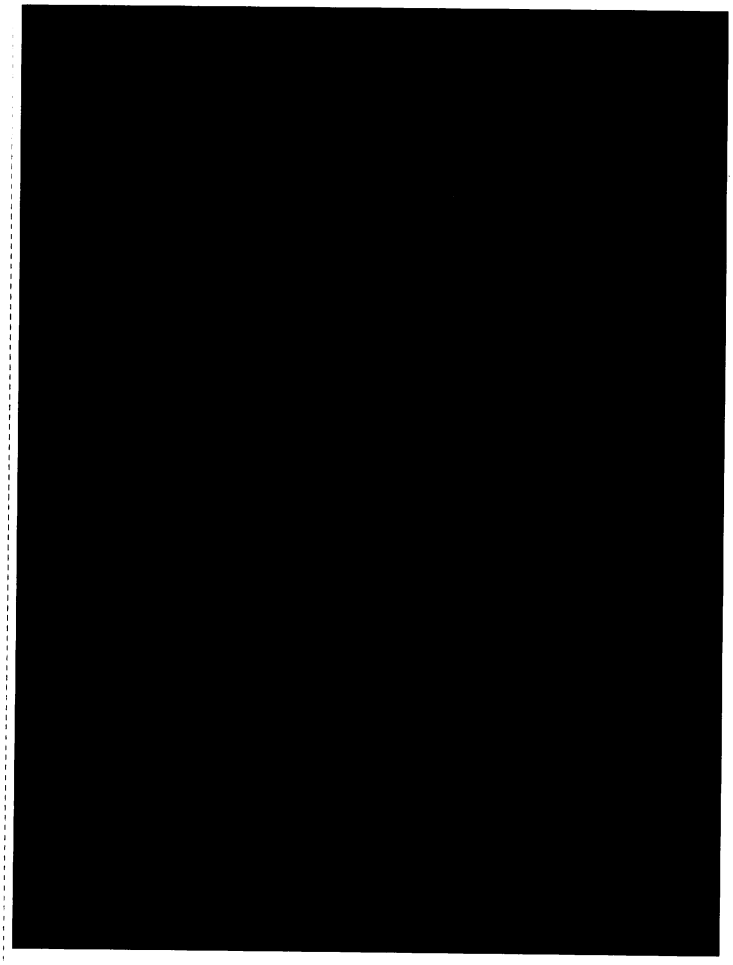
・現地立入の実施、現場での待機（診療所の消毒、獣医師の待機）

・農場への外来者の立入自粛

９　届出受理者：[redacted]

10　処置（１）通報（時間）

所長：９時２０分　　都道府県主務課：９時３０分

（２）現地調査

氏名：[redacted]　　出発時間：９時５０分